土井　紀子

［2014年度卒業／66回生］

広島市立大学大学院在籍

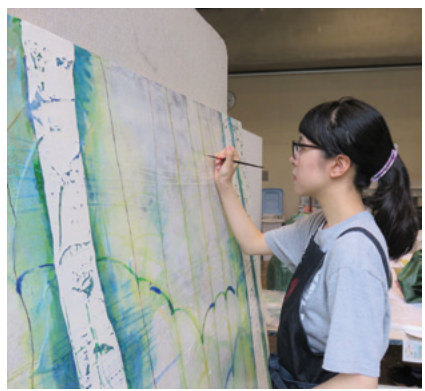
1997年　山口県に生まれる
2019年　広島市立大学芸術学部美術学科油絵専攻 卒業
現　在　広島市立大学芸術学研究科造形芸術専攻絵画研究分野 在学中
TAMENTAI GALLERY 所属
ひろしま美術研究所 受験科講師

大学で「美術」を学ぶということ

私は、広島市立大学芸術学部美術学科油絵専攻で４年間学び、同大学院に進学しました。大学院進学のきっかけは、自分の作品をより深めていきたいという思いがあったとともに、もっと傍で学びたいと思える先生に大学で出会えたことでした。大学院では、多くの自由な制作時間が確保できるとともに、専門的な美術史や絵画技法などを学ぶことができます。

大学では、専門的な知識や技法を多く学びますが、やっぱり制作のモチベーションや軸になってくれるのは「楽しい」という気持ちです。それは、ずっと変わらないものだと思います。

大学は、「自分から学ぶ場」であり、「自分から発信する場」でもあります。制作場所や制作時間が十分に与えられ、学内のアートプロジェクト等に参加すると先輩・後輩との繋がりも増えていきます。いろいろと参加してみたり、自ら企画を立ててみたり、試行錯誤しながら、失敗もしながら、そのなかで少しずつ成長させてくれる場所だと思っています。



体全体を使って制作をすることが多いです。

大学の卒業制作として提出した作品です。